

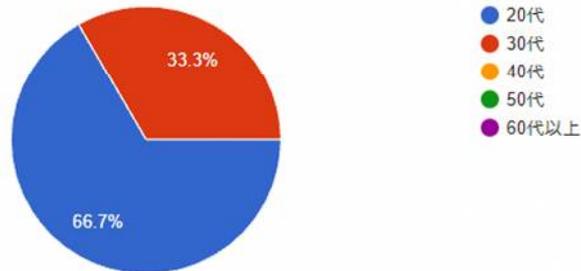


一般社団法人 北海道医療ソーシャルワーカー協会 「スーパービジョン研修会～入門編～」 アンケート

本日はご多忙の中ご参加いただき、誠にありがとうございました。アンケートにご協力をお願い致します。

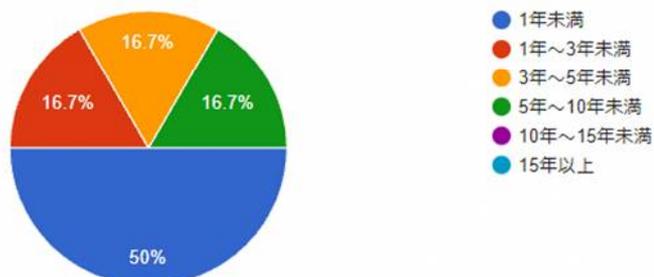
1. 年齢

6件の回答



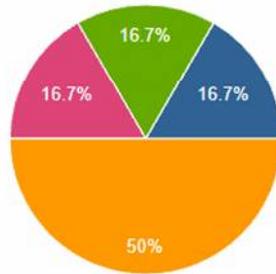
2. 医療ソーシャルワーカーとしての経験年数

6件の回答



3. 会員種別

6件の回答



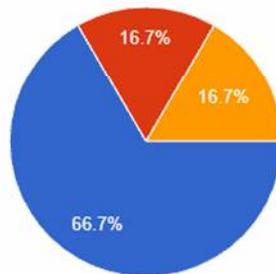
- 中央A支部
- 中央B支部
- 中央C支部
- 中央D支部
- 中央E支部
- 南支部
- 日胆支部
- 北支部

▲ 1/2 ▼

」

4. 所属機関

6件の回答

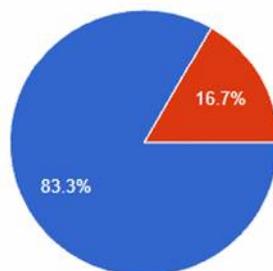


- 病院
- 診療所
- 介護老人保健施設
- 特別養護老人ホーム
- 地域包括支援センター
- 居宅介護支援事業所
- 養成校
- その他

5. (1) 講義後の理解度について、次のうちあてはまるものにひとつチェックをつけてください。



6件の回答



- よく理解できた
- 理解できた
- どちらともいえない
- あまり理解できなかった
- 理解できなかった

(2) その理由もご記入ください。

5件の回答

スーパービジョンはパイザーの専門性を高めるために必要であることを改めて実感し勉強になったから。また、より専門性を高めるにはパイザー側の姿勢も影響するということを理解できたから。

スーパービジョンの3つの機能というのは大学の講義などでも学んでおりましたが、実践の場におけるスーパービジョンにおいて3つの機能がどのような役割を果たし、どのような展開に結びついているのか、図で示したものを元に説明を聞くことができたため、より理解が深まりました。
スーパービジョンはパイザーとパイザーの両者が協働して成り立つものなので、全てをパイザーに一任するのではなく、パイザーとしてもスーパービジョンへの理解を深めようと思える研修でした。

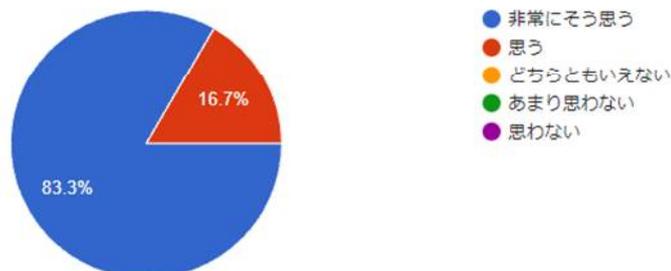
パイザーの立場の意見がきけてありがたかったです。

図を用いており、分かりやすい言葉での説明により理解が深まりました。

初任期から現在に至るまでスーパービジョンを受けてこなかった。ピアスーパービジョンをするにあたってパイザーとしての姿勢も求められるとともに、互いにパイザーにもなる後輩たちにも求められる姿勢があり、またどのようなスーパービジョンだと困るのかなども自分ではわからないことがあると感じていた。年数に応じスーパービジョンの機能の割合が変化していくことを学び、その点について特に理解できた。また他職種が上司である中でどのように臨んでいくのかについても、管理的機能に重点を置かざるを得ない状況であること、その上で専門性に関する比率が高くなる時期には難しさが生じることも実感できた。

6. (1) 本研修を受講し新たな気づきや振り返りとなる点はありましたか。

6件の回答



(2) その理由もご記入ください。

4件の回答

これまで何度も先輩がやっていたらもっとスムーズな支援が行えていたと思うことがあったが、今回の講義を受け、バイザーにも持てるケースの限界がありかつ自分の経験を増やすためにもスーパービジョンを受けながら支援の質を向上させていく必要があることに改めて気付いたから。

バイザーとしては、バイザーからいただいた指示通りに業務を遂行することや、ハウレンソウを徹底することなどの基本的な姿勢や態度に加え、指導を受ける上でのバイザーからの問いかけは自らの支援のあり方を振り返る機会だと捉えつつ、バイザーへ自分の考えを言語化できることが大切だと気づくことが出来ました。

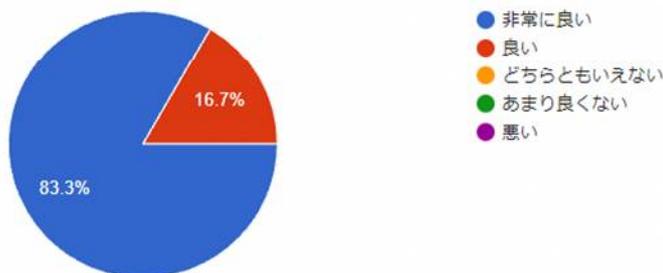
これまででは問いかけられた時に自分のアセスメント不足を痛感しておりましたが、今回の研修を受けて、問いかけは自らの支援のあり方を振り返る機会だと認識することができれば、自分の中でも少し前向きに考えていけることができるかもしれないと感じました。

ディスカッションを通して悩み事や考えていることを共有できたのが振り返りや気づきにつながりました。

他職種の上司なので厳密にスーパービジョンとなっているとは言いにくいですが、その上でどこまでを求め、あるいは求めずに臨むのかについて悩んでいた。講義を受けて、専門性については時に上司の専門性に偏った指導になる可能性があること、自身の専門性については別な方法で検討していく必要性に気づくとともに、自身の専門性をわかってほしい気持ちが強かったがその点ではなく管理的機能に焦点をあてて自身が望んでいく必要があることにも気づくことが出来た。グループワークでも全員他職種の上司だった為、ラダーの活用（共有など）も有効だと意見交換でき、現在当院で取り組んでいるラダーの活用、クリニカルの開発などはより一層専門性の担保、成長の指針としての意識を強く持って取り組んでいくべきであるとも気づくことが出来た。

7. 本日の研修会についてお伺いします。運営の段取り、見やすさ・聞きやすさなどは如何でしたでしょうか。次のうちあてはまるものにひとつチェックをつけてください。

6件の回答



8. 今後の研修運営などご要望を自由にご記入ください。

2件の回答

コロナ禍で面と向かっての研修が中々できない中、このようにオンラインでの研修があるとモチベーションがあがり、また、とても勉強にもなるということを知りました。
ありがとうございました。

今回のようなテーマは特に組織を超えた繋がり、共有と検討などのグループダイナミクスが発揮される研修であり、オンライン参加が重要だと感じました。年数を経てはいますが、参加させていただき本当にありがとうございました。